

「先生、ボク、フジテレビのお天気お姉さんと結婚したい！」

- PATH 『幸せのイチバンボシ』に向かって-

『繰り返しになりますが、新学習指導要領の構図は、詰め込みではない「知識や技能」を元手にして、主体的に「めっちゃ考えた(思考・判断)」した上で「伝え(表現)」て、友達や先生、自分自身と「主体的・対話的で深い学び」を繰り返し、学びに意味づけ・価値づけ・重みづけ・方向づけをして、生涯を通しての「主体的に学習に向かう態度」につなげていく…となっています。教師からの一方的な押しつけはすでに石器時代のものとなり、確かな基礎学力(何度も言いますが低年齢段階の認知学習は超大切!!)を元手にして、子どもたちが自ら学びを進めていくのを、教師はコーチングしていくというスタイルに変わっています。

『さて、「夢を持つことは大切だ」とか「少年よ大志を抱け！」とか言いますよね。昔、TOKIO も「Be ambitious!」と歌っていましたね(知っています?)アナタには夢はありますか？歳を重ねてくると真面目に『夢』を考えることも少なくなっていますが…。ちなみにボクはね、夢をちゃんと持ってるんですよー。ボクは「子どもが大好きっ！かわいいー」というタイプではなく、「教えることが大好き！相手は大人でも子どもでも、障害が有っても無くても構わんよ」ってタイプなので、歳を取ってからも「教える」ことをし続けることが夢です。でもそのためには無数のステップがあって、その一つ一つに主体的な努力が必要です。

『「夢」とまでは行かなくても、人間は何か「こんなことしたい！」と「願い」をもつと、それに向かっていくことができるし、その願いが強ければ強いほど「習慣形成」が成されやすくなりますよね。例えば、NHK「のど自慢」に出たいぞ！と夢をもって、「応募をする」という一歩を踏み出しまえば、そのあとはカラオケボックスに足繁く通うようになりますよね。他にも「声優になりたい！」と思い立ったら、一年中マンガ喫茶でアニメを研究しますよね。そして、たとえ最後まで叶えることができなかつたとしても、人は「夢」や「願い」をもつ中で主体的に動き、その中でたくさんのこと学び取っていきますよね。「歌が上手い！」と言われて自己有用感を高めるかも知れないし、ワンピースを読む中で「本当の友情」を学ぶかも知れないし。何かに没頭できる人はスゴいんですよ。情熱をもっている人はステキだよね！』

『さてさて。タイトルに戻って、時々子どもたちないしは保護者から一見突拍子もないような「夢」や「願い」がでてくることはありませんか？ボクが担任した子の中で印象に残っているのは「めざましテレビのお天気お姉さんの皆藤愛子さんとどうやったら結婚できますか？」っていう中学部の子の夢。そういう子どもや親御さんの「夢」や「願い」が出てきたときに「バカ言ってんじゃないよ」って言うんじゃ無くって、「じゃあさ、それを最終目標にして、今、何ができるか。1年後は何を目標にすれば良いかを引きつけて考えてみようよ。」と、大真面目にとりくむ為の「PATH」という手法があります。

『本人の願いから引きつけて、今日の支援につなげることには以下のようないい處があります。

- 本人の「夢」や「願い」から引っ張ってくるので、本人の「好きなこと」「得意なこと」「家族ぐるみで応援しやすいこと」という「強み」や「長所」につながっていることが多い。
- 「なぜボクは○○って夢をもっているんだろう？」「○○という願いの先に何を望んでいるんだろう？」という、自分の漠然とした夢を「Why? Why?」と掘り下げていく中で、「夢」が「今の目の前の活動」につながつて、意味や価値や重みが見いだされやすい。

『支援計画の「教育目標」って、どうしてもワタシたち教員が「こんな目標が今のAくんには必要！」とか、「次の目標は○○という目標でどうでしょう？」と「先生主導」で作成されがちですが、PATHの活用することで「本人中心」の目標の作成・実施が可能になり、上の枠の様なメリットを生み出します。



STEP1
幸せの一番星
(夢・願い)の設定



STEP1: 幸せの一番星(夢や願い)にふれる。



まず対象とする本人の夢や希望、将来のビジョンなどについてを記入します。例えば A 算にとっての「幸せの一番星は何か?」について、A さん本人や A さんに関係の深い人が語ります。その際、単に「○○になりたい」という子とだけではなく、「なぜ○○になりたいか?」「○○になることで何を望んでいるのか?」を踏まえることがポイントです。

STEP2: ゴールを設定する。ゴールを感じる。



夢や希望の実現日を記入し、本人が夢の実現に向けて、その「夢の実現日」に何をしているのか、何を感じているのかを話し合い、記入します。

STEP3: 今に根ざす (ワタシや私たちは今、どの辺にいるか?)。



今日の年月日を記入し、本人の現在の実態や現状と、それを本人がどのように感じているのかを話し合い、記入します。その際、実態については、本人の「強み」や「良さ」に着目し、肯定的に捉えることが大切です。

STEP4: 夢を叶えるために誰を必要とするのか?を考える。



夢を叶えるために誰を必要とするのか、関係者をリストアップします。

STEP5: 必要な力 (どのような力を増したら良いのか) を考える。



夢を叶えるためにはどのような力が必要なのか、どのような力を高めたら良いのかを話し合い、記入します。

STEP6: 近い将来の行動を考える。



近い将来、夢が現実になっているためにはどのような行動をとっているかについて話し合い、記入します。

STEP7: 1ヶ月後の作業を考える。



今回の話し合いを終えて、話し合いに参加したメンバーがそれぞれ「1ヶ月後に」何をするのかを記入します。

STEP8: 初めの一歩を踏み出す。

今回の話し合いを終えて、話し合いに参加したメンバーがそれぞれ「最初に」何をするのかを記入します。